

伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第 14 回 まちなかエリア高度化 WG			
開催日	2025 年 8 月 18 日(月)			
開催時間	開会	18 : 00	閉会	18 : 55
開催場所	市役所 5 階 501 会議室 オンライン併用			
出席者				
協議会・WG メンバー	会場：黒河内貴氏 O L：政金裕太氏			
事務局・職員	会場：企画部企画政策課 織井邦明課長、有賀慎課長補佐、 村田和也新産業技術推進係長			
関係者	—			
欠席者	志知貴文氏、鈴木孝之氏、細谷啓太氏、土田智氏、瀧内貫氏			
議事	1、次回「対話・つながり・実現の場」について			

議事項目	概要	次のステップ
1、次回「対話・つながり・実現の場」について		
WG メンバーより 次回「対話・つながり・実現の場」のテーマ案 説明	○WG メンバー ・第 1 回、第 3 回の「対話・つながり・実現の場」の成果物や報告書等を見返し、以下 28 個の特徴的なキーワードを抽出した。 「つながり」「レトロ」「魅力」「プロモーション」「居場所」「ブランディング」「コミュニティ」「発信・発見」「くつろぐ」「いかす」「残す」「エンタメ」「集える」「飲食」「教育」「歴史」「デザイン」「地形」「生業」「文化」「交通」「観光」「福祉」「子育て」「公園」「水・水路」「空き地・空き家」「シェアリング」 ・A 案では 28 個のキーワードを 3 分類（「魅力」「場づくり」「手段・方法」）した。 <魅力> 「レトロ」「魅力」「発信・発見」「エンタメ」「歴史」「地形」「生業」「文化」「観光」「公園」「水・水路」 <場づくり> 「つながり」「居場所」「コミュニティ」「くつろぐ」「飲食」「教育」「福祉」「子育て」「空き地・空き家」 <手段・方法>	

	「プロモーション」「ブランディング」「いかす」「残す」「集える」「デザイン」「交通」「シェアリング」 ・そこから次のアクションにつながりそうなキーワードを厳選し、テーマを(仮)に考えると次のようになる。 <魅力> 「歴史」「レトロ」「エンタメ」「観光」 ★テーマ1「関係人口を増やす取組」 伊那の歴史やレトロな雰囲気を生かしたエンタメや観光コンテンツを考え実際に試してみよう！ <場づくり> 「居場所」「つながり」「コミュニティ」「空き地・空き家」 ★テーマ2「今の住民に対する居場所づくり」 空き家や空き地を再活用して、実際に居場所づくりをしてみよう！ <手段・方法> 「ブランディング」「交通」「シェアリング」「デザイン」 ★テーマ3「プロジェクトを持続可能にする仕組みづくり」 魅力や居場所をつなぐ交通システムや外部への発信の仕方など、魅力や場所を持続する方法を考えよう！ ・それぞれのテーマで具体的なアクションを(仮)に考えると次のようになる。 ★テーマ1 伊那のレトロな建築や街道など歴史をテーマにしたまち歩きを実施する。 ★テーマ2 空き地を1日公園として開放し、イベントを実施する。 ★テーマ3 伊那の面白いお店の情報をまとめたプラットフォームづくりをする。 ・B案では28個のキーワードをA案とは違ったアイデンティティの視点で3分類（「歴史・文化」「移住・生活・習慣」「自然環境」）した。 <歴史・文化> 「レトロ」「歴史」「生業」「文化」「観光」 <移住・生活・習慣> 「つながり」「居場所」「コミュニティ」「集える」「飲食」「教育」「交通」「福祉」「子育て」「空き地・空き家」 <自然環境>	
--	--	--

テーマ案の説明 を受けて協議	「地形」「公園」「水・水路」 <その他> 「魅力」「プロモーション」「ブランディング」「発信・発見」「くつろぐ」「いかす」「残す」「エンタメ」「デザイン」「シェアリング」 ・そこから次のアクションにつながりそうなキーワードを厳選し、テーマを(仮)に考えると次のようになる。 <歴史・文化> 「歴史」「レトロ」「文化」「生業」 ★テーマ1「地域を知る体験づくり」 伊那の食文化、職能や芸能の体験会をしてみよう！ <移住・生活・習慣> 「教育」「福祉」「コミュニティ」「子育て」 ★テーマ2「子どもと大人の居場所づくり」 子どもたちの遊び場をつくろう！ 高齢者の過ごしやすいまちなかについて考えよう！ <自然環境> 「公園」「地形」「水・水路」 ★テーマ3「伊那の自然環境を活かした空間づくり」 水や緑をいかした快適な空間をつくろう！ 水辺や緑地の生きものを観察しよう！ ・それぞれのテーマで具体的なアクションを(仮)に考えると次のようになる。 ★テーマ1 ざざむし漁から調理、食事までを体験するイベントを実施する。 ★テーマ2 10代以下と60代以上しか入れない喫茶店を実験的に開店する。 ★テーマ3 水辺を生かしたいなまちクールスポットマップを作成する。 ○WGメンバー ・どのようにしてテーマを設定したか根拠を示すことが大切だという意味で、大変わかりやすく、納得感がある。 ・「対話・つながり・実現の場」では、3つのテーマを示し、参加者に興味のあるテーマに分かれて参加してもらうイメージか。 →そのとおりである。例えば「歴史」「歴史を生かしたまちづくり」というテーマに興味がある人が	
---------------------------	--	--

	集まって対話をする、そんなイメージである。 (WG メンバー) ・設定したテーマの分野において、実際に取り組んでいる人もいます。そういった方を呼んで話をしてもらうような対話のきっかけになる事例紹介があるとよいと思った。 ○事務局 ・A 案、B 案どちらかを選択せず、作成していただいた 6 テーマすべてを抛り所として協議すればどうか。協議の中で絞っていけばよいのではないかと。 ・28 個のキーワードは、今後大切なので WG としてずっと持っておきたい。 ○事務局 ・キーワードがグループ分けされて具体的なテーマが見えてきたので、この案で進めていけば市民の方が参加しやすいと思う。 ○事務局 ・A 案テーマ 3「プロジェクトを持続可能にする仕組みづくり」は、即何かアクションを起こせるという感じではないものの、行政の立場としては、ここを深掘りしてほしいという思いもある。 ○WG メンバー ・A 案テーマ 1、2 はイベント的にアクションを起こせるが、A 案テーマ 3 は、仕事として本腰を入れないと関われない気がする。スタートアップ企業の方に参加してほしいようなテーマで、一番掴みどころがない。A 案テーマ 3 だけ参加者がいないのではないかと思います。 ・前回 WG メンバーがおっしゃったように、テーマは 3 つぐらいがよいということだったので、次回 WG で候補の中から 3 つにテーマが絞ればよいと思う。 ・WG メンバーがおっしゃったように、その分野で活躍されている方に話題提供してもらうのもよいと思う。 ○WG メンバー ・3 つなり 6 つなりのテーマで次回の「対話・つながり・実現の場」を開催したとして、この WG としてその後も「対話・つながり・実現の場」を開催することになると思うが、どこまで行ったら終わりなのか、何を目標とするかがイメージできない。 ○WG メンバー	
--	---	--

	・目標自体も市民の方と一緒に考えていくイメージでいる。 ・この WG から何件新しいアクションが生まれるという目標数字はあった方がよいと思っているが、その数字に囚われてあまり質の低いアクションもカウントしてしまうこともある。 ・ただし、具体的なアクションが生まれてきたときには、そのアクションはこの WG の取組がきっかけで始まったということを言えた方がよいので、アクションを起こした人がどういうきっかけでそこまで至ったのかを把握していける体制が必要である。 ○WG メンバー ・例えば次回 3 つのテーマで「対話・つながり・実現の場」を開催しても、1 回で何か結論が出てアクションにつながることはないと思う。そうするとまちなかエリア高度化 WG の中に 3 つの小さな WG ができるかもしれない。3 つの小さな WG はそれぞれ進捗度合に違いが出てくるが、それらの小さな WG を追いかけて「対話・つながり・実現の場」を作り続けることを求められているのかとも思う。 ○WG メンバー ・具体的なアクションをやりたい人が出てくれば、その人が「対話・つながり・実現の場」を仕切ればよいと思う。周知や集客はこの WG や市役所がバックアップすればよい。 ・そういった「対話・つながり・実現の場」を 1 回は実施するけれども、具体的なアクションが走り出せば、プロジェクトとして走ってもらうという形でよいのではないか。 ○WG メンバー ・具体的なアクションを起こしたい人が出てこないテーマもあると思うが、そのテーマですでに成果を出している人もいるはずである。そういった方がつまづきや困難等も含め参加者に話題提供してもらうような「対話・つながり・実現の場」を継続的にシリーズ化していくのはどうか。 ○WG メンバー ・その意見はすごく良いと思う。この WG 自体が対話のプラットフォームになり、数か月に 1 度程度、その都度まちなかエリアについて喋りたい人が集まって喋る場になるのはおもしろい。 ○事務局	
--	--	--

	・実際にアクションを起こした人が課題や失敗談などを持ち寄ったり、事前の周知によって一緒に取り組みたい人が集まったり、フィードバックしてアクションを立て直す場になればよいと思う。 ○WG メンバー ・今までアクションを起こしたことがない人、0 の人を 1 にすることは難しいけれど、すでに取り組んで 1 や 2 になっている人を発掘してサポートするというやり方もあるのではないか。 ・具体的なアクションを起こしたい人が誰も出てこないから、もう「対話・つながり・実現の場」を開催しないというのは違う気がする。 ○WG メンバー ・「このテーマについて、実際に取り組んでいる人に話題提供してもらいます！みんな集まれ！」と周知した方が募集しやすいし、実際に取り組んでいる人の話を受けて「自分も！」と思う参加者も出てきやすいと思う。 ・レクチャーとワークショップをワンセットにしたテンプレートを作り毎回テーマを変えていくというのがよいかもしれない。 ○事務局 ・そういったやり方であれば、毎回テーマは一つの方がよいと思う。情報提供者が複数人いるとゴチャゴチャしてしまうし、聞く人が少ない情報提供者には申し訳ない。 ○WG メンバー ・次回の「対話・つながり・実現の場」で、「今まで 2 回の『対話・つながり・実現の場』を受けて、こんな考え方でテーマを整理し、今後、こんなテーマごとに「対話・つながり・実現の場」を開催していきます」という説明を参加者向けにできれば、WG 側も参加者側もわかりやすい。 ・次回 WG では、今日の WG での提案を受けて今後どのようにして「対話・つながり・実現の場」を計画していくかという議論ができればよい。 ○WG メンバー ・次回 WG までに、WG メンバーに今日こんな話をしましたということを共有したうえで、次回 WG では今回提案したテーマ案をきっかけに、次の「対話・つながり・実現の場」の進め方について議論できればと思う。	
--	--	--

	・例えば「歴史」というテーマであると範囲が広いが、「昭和の建造物」というテーマであると範囲が絞られる。テーマの範囲をどうするかという議論はしなければならない。 ○事務局 ・今日の資料と今日の会議で出た意見をたたき台に、次回 WG である程度次の「対話・つながり・実現の場」をどのようなものにしていくかが見えてくればよい。 ○WG メンバー ・次回 WG は、今日のテーマ案説明、今日協議した「対話・つながり・実現の場」のフォーマットの説明をしたうえで WG メンバーで協議し、その方向性でよいとなれば、次回「対話・つながり・実現の場」では、どんなテーマ設定をし、誰に情報提供してもらうかという議論に移っていければと思う。 ・次回 WG は、なるべく WG メンバー全員が集まるタイミングで会議を開催するという事とする。	<次回 WG アジェンダ> ・今回 WG メンバーに作成いただいたテーマ案の説明 ・今回協議した「対話・つながり・実現の場」フォーマットの説明 ・次回「対話・つながり・実現の場」の内容協議 ・WG メンバーがなるべく全員参加できる WG 日程を調整する
--	--	--

■今後のスケジュール

<次回 WG>

日程未調整